

都市整備

国民体育大会開催はたかの台地域の活性化にどう生かされるか

山岸真知子議員（公明） ①国体種目が地元施設で開催されることへの見解は。

②地域協議会の立ち上げが、地域の活性化に効果的では。

③にじバスを早期に鷹の台駅へ乗り入れられないか。

市長 ①地元商店会の活性化が図られ、人と人との新たな交流の場が生まれると期待している。

②商店会によるにぎわいと交流の場の創出は、商店街の活性化に関する条例の目的に合致するので、後押しをしたい。

③課題もあるが、駅周辺整備の進捗状況も踏まえ、検討、研究してきたい。

市民総合体育館へのアクセスとヒップホップダンスの練習場所

木村まゆみ議員（共産） ①鷹の台駅までにバスを延伸することの検討は。

②鷹の台駅自由通路の改善は。

③ダンスの練習場所として、体育館の壁面の一部を鏡に張りかえてはどうか。



市民総合体育館正面玄関わきのガラス

市長 ①地域協議会を組織する準備を進めており、その中で具体的に検討したい。

②都の補助事業を活用してエレベーターを整備する計画で、西武鉄道と協議している。

教育長 ③正面玄関わきのガラスにマジックミラーの機能を兼ねたスマートフォンを張る予定なので、ダンスの練習等に利用できるかと考える。

美園町・大沼町のコミュニティタクシー実証実験運行について

宮崎照夫議員（政和） ①利用率の低下をどう理解しているか。

②路線の検討は。

③市内全域で同時に実証実験運行を行うかどうか。

市長 ①繰り返し利用してもらうためには時間が必要であり、さらなるPRに努めたい。

②大沼町・花小金井地域コミュニティタクシーを考える会で病院等へのアクセスや停留所の追加も含め検討している。

③利便性だけでなく地域コミュニティや経済の活性化を指しており、機運の高まった地域から運行を考えている。

コミュニケーションタクシーの今後の課題について

佐藤 充議員（共産） ①大沼地域のコミュニケーションタクシーのPR状況と評価は。

②大沼町・花小金井地域コミュニティタクシーを考える会で検討すべき課題は。

③次の実証実験運行は。

によるPR効果が、数か所の停留所であらわれている。

②地域で支え、乗車人数をふやすためのさらなるPRや、病院へのアクセス等を含めた路線の変更を検討している。

③機運が高まった地域から取り組みたい。

小平市交通網について

斎藤貴亮議員（フオ） ①都バス梅70の協議会で協議されている内容は。

②バスロケーションシステムについて、協議はされたか。

③にじバスの運行・運営のノウハウは都バス梅70に反映されているか。

市長 ①昨年度は路線維持経費の削減策等を話し合った。

②都交通局とは個別に利用者の利便性につながる内容として話し合いを行っている。

③反映されたわけではないが、平成18年度に時刻表をわかりやすくするためダイヤを改正した。バスロケーションシステムと連携してPRしたい。

リアルタイムでバスの位置情報を知らせるサービスのこと。

市役所西通り上水本町地区での安全なバス停の設置について

常松大介議員（フオ） ①バス事業者へ要望した内容と経過は。

②市や都がバス停として使用するために道路を整備し、バス停として使われている数は。

③西武鉄道から借地して整備した場合、年間の賃借料は。



桜堤バス停(上水本町四丁目)

からは借地料などを負担している事例はなく、設置の予定はないという回答を受けた。

②市道、都道ともに15か所である。

③賃借料は約10万円、整備費用は約50万円と想定される。

旧日本長期信用銀行グラウンド跡地の開発について

川里春治議員（政和） ①雨水対策の考え方は。

②市境の道路整備計画は。

③開発に関して、小平市と西東京市の住民の意見が異なる場合の対応は。

市長 ①1時間当たり60メートルの降雨量の全量に対して、雨水浸透施設を整備する。

②本年度、花小通りの車道の打ちかえ工事を予定している。

③西側の既存道路への接続に關し、歩行者専用か、車両通行可の道路とするか意見が異なるっており、土地利用審議会の答申を受けて、指導、助言をしていく。

小川駅西口再開発と小川西町地区のまちづくりについて

③課題と解決策は。

④市も事業主体として組合に参画し、事業を推進しては。

市長 ①5月の通常総会で本年度の事業計画や予算の理解が得られず、活動を一時停止せざるを得ない状況である。

②都市計画決定に向けた支援をすることである。

③準備組合の組織としての基盤が脆弱なので、推進体制の強化が必要と考える。

④参画は考えていないが、技術的・経済的支援をしたい。

新小平駅周辺のまちづくりについて

佐藤 充議員（共産） ①鉄道とバス路線を結ぶターミナルとして充実させては。

②風致地区にふさわしい町並みや、樹木保全の対策は。

③まちづくりの考えは。

市長 ①公共交通事業者の活力導入も視野に入れ、交通結節点としての機能を高めたい。

②保存樹木の指定や生け垣造成の助成制度などをPRし、市民と行政が一体となった緑化を推進したい。

③コンパクトな生活圏域が形成された、住宅都市としてのまちづくりを推進していく。

佐野都夫議員（政和） ①再開発事業の現状は。

教育文化

小・中学校の施設、設備、用具等の改善促進について

西 克彦議員（共産） ①学校薬剤師や現場等からの給食関連の改善要求に早急に対応できないか。

②高額の工事に対する考えは。

③中学校から要望のある図書室のエアコン設置や、放送設備の改修にかかる費用は。

教育長 ①衛生管理面で緊急性の高いものや、業務に支障を来す可能性のあるものを優先している。

②緊急性、安全性を優先しており、耐震補強工事終了後に取り組めるよう計画したい。

③1校当たりの概算で、いずれも約三、四百万円かかる。

地域児童見守りシステムモデル事業の現状はどうか

西 克彦議員（共産） ①モデル校における利用者数の変化は平成19年度と比較してどうか。

また、その要因は。

②モデル校以外の学校、及び小学校全体の加入率は。

③学校や家庭等からはどのような意見があるか。

としたアンケートでは、システムの有用性に関する意見が多い。

子どもが笑顔で遊び回れる町をキッズバス事業は中止を橋本久雄議員（緑ネ） ①昨年度のモデル事業の評価は。

②本年度、事業を実施するに当たっての検討は。

③70%の児童が事業に参加しないことについての評価は。

教育長 ①保護者からのアンケートではおおむね好評であった。②事業者、教育委員会、小平地域見守りネットワーク協議会で予想される課題を検討した。

③教育委員会としては、保護者に事業が周知されていないこと等もあると考える。ネットワーク協議会としては対象者を低学年と考えていたため、参加率が低いとは受けとめていない。

※キッズバス事業とは学校の昇降口等に設置しているリーダーにICカードをかざすと、子どもの登下校の状況を保護者の携帯メール等に配信した事業のこと。

小・中学校の卒業式と入学式における来賓等の対応について

佐野都夫議員（政和） ①市長が卒業式と入学式へ出席することの位置づけは。また、あいさつの有無は。

②国歌斉唱時に起立しない来賓に対する考えは。

③来賓の席順の決め方は。

市長 ①毎年出席して来賓として紹介を受けるが、あいさつはしていない。

教育長 ②出席者の内心の自由に配慮することも必要だが、学

校の方針を理解してもらうことが大切と考える。

③出席状況を把握して、学校長が判断している。

少人数学級の実現を目指す市の取り組みについて

佐藤 充議員（共産） ①ティーンング・アシスタントの活用状況と課題は。

②事実上、少人数学級の実現に匹敵するような形で活用している例はあるか。

③市民と一緒に都要望することもあると考えるが。

教育長 ①昨年度は小学校6校に9人、延べ621回活用し、平成20年度は小学校12校に拡充した。活用方法を広げ、指導を充実させることが課題である。

②現在は把握していない。

③地域や保護者の意見を聞きながら、東京都教育委員会を通じて要望していきたい。

小学校の英語活動の現状と今後について

浅倉成樹議員（公明） ①学校現場での課題は。

②教員や指導者の確保は。

③2年後に小学校5、6年生の授業に英語が導入されるが、今後の英語活動のあり方は。

教育長 ①教員の指導力の向上と活動内容の充実である。②外国人英語指導助手を配置している。教員については研修会のほかに全校に津田塾大学の教授などを派遣し、指導力の向上を図っている。③外国語を通して言語や文化への理解を深め、コミュニケーション能力の素地を養うことを推進していく。